

工具管理ユニット [KU]

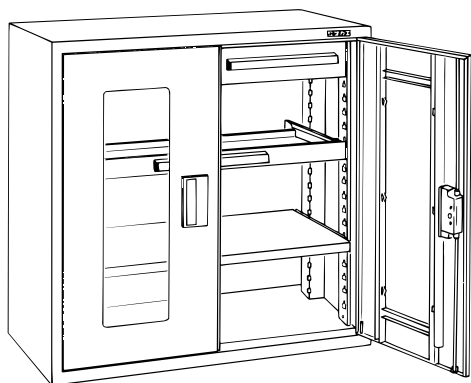
取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますようお願いいたします。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101 No.301 00L-A

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 棚板の等分布耐荷重（棚板全面に均等に物を置いた場合）は、80kg

〔引出しの等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は、〕

KU-41C	KU-94B	KU-96BA	50kg/段	KU-102B	KU-5D2	70kg/段
KU-42C	KU-96B	KU-96B3A		KU-44B	KU-7D1	
KU-CBⅢ	KU-96B3	KU-CK1T		KU-66B	KU-8D1	

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄せますと製品破損の恐れがあります。

2. 転倒防止補助脚付属製品は、本体転倒の恐れがありますので、転倒防止補助脚を必ず本体に取り付けてからご使用下さい。
3. 引出し付製品の場合転倒防止のため重い物は下段に入れて置いて下さい。また、同時に複数の引出しを出さないで下さい。
4. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
5. 引出し付製品の引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
6. 引出し付製品の引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
7. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
8. アジャスターベース付製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
9. 本体と床面等にガタツキがあるときは、ライナー等で調整し水平の状態で使用して下さい。
(オプションのアジャスターベースを使用しますと水平出しも簡単に行えます。)
10. この製品を移動するときは、収納してある物を全て出し、本体を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
11. 保管庫の天井部に直接物を置かないで下さい。
12. 同サイズ(奥行×間口)のものを積み上げて使用する場合は、全高がH1760の範囲内で、オプションのズレ止め金具、又は転倒防止金具をご使用下さい。

13. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 鍵付製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
6. 鍵付製品の鍵を掛けるときは、引出し付は全ての引出しを、扉付は扉を確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。
7. 鍵付製品をご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。
8. 鍵付製品の鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。(有料となります。)
9. 消耗部品には寿命があります。可動部などに、異常音等(損耗現象)が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
10. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
11. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。